

平成 26 年度事業報告

I 概要

我が国は世界に例のない少子高齢化の只中にあり、今や高齢者 1 人に対し現役世代人口が 2 人という社会が現実化しつつあります。このような状況から、高齢者にとっても、一方的に社会から支えられるのではなく、支える役割を担うことが期待されており、働く意欲のある高齢者が培った能力や経験を活かし、できるだけ長く現役で活躍し続けられる社会環境の整備が必要とされています。

そのようななか、松山市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、平成 26 年度「就業機会の拡大」及び「会員の拡大」を最重要課題とし、会員・役員・事務局職員が一体となって事業を展開し、団塊の世代をはじめ高齢者の働く力を地域に生かす組織として生涯現役社会の実現を目指しました。国の施策に基づいた「地域人づくり事業」を効果的に活用し、これまであまりシルバー人材センター事業の利用がみられなかった層のニーズにも対応できるよう、職域拡大や就業機会の開拓等に取り組み、高齢者に地域社会における就労社会参加のための機会を提供する事業や、介護福祉分野の労働環境に起因する人手不足の改善と併せて、介護職員の人材育成を図る事業を積極的に実施し、新たな就業機会の確保に努めました。

新たに取り組んだ事業では、松山市の支援により「高齢者就労総合相談窓口」を拠点とした有料職業紹介事業を実施し、法令順守のもと、より一層の高齢者の就業ニーズに応えるため、企業が雇用者を雇用しやすい環境整備を行った結果順調に推移し、また、地域のニーズに応じてセンターの多様化・活性化を図り事業化する「地域ニーズ対応事業」では、女性の創造力を活用した事業を展開し、地域の女性の就労を支援しました。高齢者ケア事業では公益に資する事業を実施し、生きがいづくりの促進と環境整備を行い利用者の増加に繋がりました。収益事業である介護保険事業では、一定の収益を確保することができました。

その結果、事業実績は、適正就業の徹底を図る中で、基幹事業である受託事業及び、一般労働者派遣事業等による就業機会確保に積極的に取り組んだ結果、前年度を約 4 千万円上回る、11 億 9,100 万円となり、全体では収支相償を達成しました。

地域班活動においては、会員憲章の理念のもと高齢者の生きがいの充実と社会参加の推進を図る事業を実施し自主的活動の促進と事業の拡充を図りました。

また、理事会活動においては、理事会の更なる充実に向け、理事の職務を明確に組織機能の強化を図りました。

そのほか、賛助会員をはじめとした企業参加等、地域住民に親しまれるセンターとして、多様なニーズに対応した活動を通して地域社会の活性化と高齢者の生きがいづくりに努めました。

II 事業実施報告

1. 高齢者に対する雇用によらない就業の機会の確保・提供事業

市報やホームページの活用及びチラシ等の配布等による広報活動を行うとともに、センター会員である高齢者に周知するよう努めた。

営業推進実行委員会を核に、営業推進員による地域に密着した営業活動を継続的・組織的に展開し就業機会を確保する事ができた。

就業機会の提供に当たっては、地域から発注された仕事の情報や内容等を広くセンターの会員である高齢者に周知し、希望、能力等に応じて公平に提供を行うとともに、できる限り多くの高齢者の就業機会が保たれるようグループ就業、ローテーション就業を実施し、「仕事の分かち合い」に配慮した。

また、高齢者の就業機会拡大のため、高齢者が創意と工夫により、就業を創出する事業として、毛筆筆耕教室、パソコン教室、パソコン名刺外作成事業、温もり喫茶事業、和洋裁のリメイク事業、手すき和紙作成事業と6つの独自事業を実施した。

事業実績は以下のとおり。

【事業実績】

(1) 会員数 3月末現在2, 299人（前年度2, 316人）

(2) 事業実績

受注件数 17, 965件（前年度 17, 775件）

就業実人員 1, 715人（前年度 1, 730人）

就業延人員 226, 259人日（前年度 220, 197人日）

契約金額 11億9, 116万円（前年度 11億5, 143万円）

2. 雇用による就業を希望する高齢者に対する一般労働者派遣事業及び職業紹介事業

(1) 一般労働者派遣事業

派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」に基づき、松山実施事務所として愛媛県シルバー人材センター連合会と連携しつつ事業を実施した。

また、従来の、請負・委任形態による就業では対応できなかった、発注者からの指揮命令を受けての就業など、多様な機会を会員に提供した。

登録会員数850名、受注件数1,193件、契約金額145,921千円となり前年対比114.3%であった。

(2) 職業紹介事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務を希望する高齢者に対して職業紹介事業を行い、高齢者の就業機会確保に努めた結果、無料職業紹介事業求人数24件に対し、就職件数24件であった。

3. 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能を付与する講習事業

(1) シニアワークプログラム地域事業

ハローワークや、地域の事業主団体と連携を図りながら、技能講習と合同面接会等を一体的に実施し高齢者の雇用就業を支援する講習会を実施した。

今年度は、施設管理講習会を始め11講習を実施した結果、応募者数244名、受講者数206名、合同面接会参加者は101名であった。

(2) 技能開発講習会事業

会員の技術向上を図るため、各講習会を実施し就業機会拡大の効果を上げた。

| | |
|-----------------------|-------|
| 剪定作業講習会 | 17名参加 |
| 除草作業研修会 | 21名参加 |
| 福祉・家事援助サービス事業講習会 | 61名参加 |
| イクじい・ばあばママの養成講習会 | 37名参加 |
| イクじい・ばあばママのレベルアップ講習会等 | 32名参加 |

4. 就業を通じて高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図る事業

(1) 社会参加促進事業

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、社会参加の一環として市と連携したまち美化活動や、職群班による市立小学校・幼稚園の剪定・軽作業地域班活動による清掃ボランティアや「愛媛マラソン」の運営ボランティアに参加した。

| | |
|----------------------|--------|
| クリーンアップ大作戦秋季大清掃(10月) | 112名参加 |
| クリーンアップ大作戦年末大清掃(12月) | 115名参加 |
| 第53回愛媛マラソンボランティア | 42名参加 |
| 剪定班ボランティア | 37名参加 |
| 除草班ボランティア | 48名参加 |

(2) 相談・情報提供事業

就業意欲のある高齢者を対象に、毎月2回の就業相談を実施し、就業を希望する高齢者の就業機会の開拓と情報提供を行い、特に、女性の就業機会拡大に努めた。

就業相談者 169名（男性107人、女性62人）

就業者 81名（男性48人、女性33人）

(3) シルバーサロン事業

「シルバーサロン清水町」での、地域コミュニティを取り込んだ、社会参加に意欲のある健康な高齢者に就業の場を提供するとともに、当センターの利用者、会員を初めとした高齢者に多様な交流の場を提供し、高齢者の生きがいの充実に努めた。オカリナを始め14種の行事を定期的に行い、実施日数245日、延参加者数3,648名の利用があった。

(4) 生きがいデイサービス事業

介護（支援）認定を受けていない高齢者への健康と生きがいづくりの促進・閉じこもり予防に繋がる事業として、今年度は松山・北条の2か所で実施した。

松山市生きがいデイサービス事業

実施日数244日、登録者数71名、延利用者数1,990名

北条老人デイサービス事業

実施日数244日、登録者数59名、延利用者数2,579名

(5) 高齢者生活基盤支援事業

離島における、生活基盤（「見守り」と「買い物支援」）及びミニデイサービスを実施した結果、買い物支援事業364件、ミニデイサービス（「中島地区サロン楽島会」）実施回数45回、参加者726名となり、誰もが住み慣れ

た地域で安心して暮らせる環境整備の支援に役立った。

5. 高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るための事業

(1) 就業開拓等事業

営業推進員を中心とした家庭、事業所、地方公共団体等の訪問・面接を行い就業先を積極的に開拓すると共に、高齢者の職業能力や経験を生かせる職域の開拓を行った。

特に、女性会員の特質を生かした職域の開発に努めた。

訪問件数 2,431 件

企業 872 社 地方公共団体 27 件 その他団体 18 件 個人家庭 1,514 件

(2) 調査研究事業

地域社会のニーズにマッチした事業展開を実施するために、発注者満足度調査、高齢者の就業に対する意識調査や健康づくりの推進に関する調査等を実施し未就業会員の就業実現に繋がった。

(3) 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業委員会を開催し、安全・適正就業委員会と安全推進員の連携により、安全就業巡回指導や交通安全講習会等を実施するとともに、安全会報を作成し事故防止対策や事故発生分析等積極的な取り組みを行った結果、事故件数 23 件となり前年度を 1 件下回った。

【事故発生状況】

傷害事故 8 件 賠償責任事故 13 件 自動車（保険）事故 2 件

安全巡回指導 6 回

安全就業・交通安全講習会 57 名参加

○危険予測トレーニング 30 名参加

○運転適性診断 27 名参加

(4) 普及啓発事業

健康で働く意欲のある会員入会の働きかけを行うとともに、市報、ポスターの掲示及びチラシ等の配布や、ホームページ掲載、センターボランティア活動の報道依頼などを行った

当センター広報誌「シルバー松山」年 4 回、事業啓発チラシ（ことぶれ）、新たに女性会員の情報共有や活動活性化ツールとして「女性会員活動活性化委員会 News」や派遣事業啓発のため「派遣 News」を発行した。

入会希望者への説明会の実施と新規入会者の研修会を実施し、センター事業への理解と就業に係わる周知を行った

○入会説明会 526 名参加（男：300 名、女：226 名）

○新入会員研修会 369 名参加

(5) 地域ニーズ対応事業及び企画提案方式による事業

高齢者の就業機会を拡大するため、松山市と共同で厚生労働省に企画提案し、地域社会における「教育」、「子育て」、「介護」、「環境」、「第一次産業」分野の需要に対応した 5 事業を実施した。今年度から、地域ニーズ対応事業「世代間連携による、女性の創造力と ICT を活用したシルバー人材センター観光産業参画事業」を実施した。

①しるばーサロン地域つながり事業

介護保険法によるサービスでは対応できないひとり暮らしの高齢者を対象として、シルバーサロンを基盤としたミニデイサービスを実施し、生きがいつくりの促進と介護予防に繋がるサービスの提供を行った。また、高齢者支援サービス等就業機会確保に繋がった。

②イクじいの子育てひろば事業（多世代交流事業）

男性の子育て参画に着目した、次世代育成支援の推進や子育て支援を目的とした「子育てひろば」を開設し、子育てひろば事業での「こどもあそび教室」と「一時預り事業」を実施し、高齢者と親子の多世代交流を深めることができた。

③高齢者健康づくり支援事業

健康サポーターが、実際に健康づくりメニュープランの作成や健康フェスタ・サロン等を通じて、地域発展の担い手となって社会参加等を行い、活動を通じて、健康の維持・増進の知識を広めていくことによる事業効果と就業機会の確保に繋がった。健康フェスタ参加者会員 53 名、一般 100 名

④高齢者生活基盤支援及び見守り体制構築事業

支援が必要な高齢者を訪問し、基盤支援を行うと共に、安否確認を実施することにより、センターが有する会員の豊富な知識・経験、ネットワークを生かし、関係団体、地域組織等との協力による広報により、一定の生活基盤支援の利用に繋げることができた。

⑤地域高齢者等権利擁護支援に係る高齢者労働能力活用事業

後見制度を基軸にした高齢者の権利擁護や住み慣れた地域での生活維持の体制づくりを目的とするなか、より弱い立場にある高齢者等に係わる就業機会を確保する事が出来た。

⑥世代間連携による、女性の創造力と ICT を活用したシルバー人材センター観光産業参画事業

観光資源に係るお土産品作成の一端を担う事業として、ICT を活用し新たな会員の確保と就労機会を確保し、地域の女性の支援を行い観光産業の拡充に繋げることが出来た。

(6) 助成金等を利用した事業

「農」のある暮らしづくり交付金事業を実施し、農に関心を持つ若い世代のサポートや農家のサポートを行える元気な高齢者が、都市農業の振興・保全のためのサポーターの人材育成を図り、「農」を核とした場の形成と次世代高齢者に繋げていくことを実現する新たなコミュニティへの社会参加の機会確保を実施した。

緊急雇用創出事業（地域人づくり事業）を県、市から受託し 2 事業を実施し職域の拡大や就業機会の拡大に取り組み、高年齢者に地域社会における就労と社会参加のための機会を提供した。

○生涯現役！セルフプロデュース実践プログラム事業

ホワイトカラー層のニーズに対応できるよう、ミニコミ誌を活用した事業啓発や地域サロンを開設し地域高齢者を巻き込んだ事業展開を図った。

また、UJI ターン支援を行い都心部等関係団体との連携を図りながら

事業を推進した。

○高齢者就業機会拡大・介護人材育成確保支援事業

高齢者の就業機会を確保するため、介護サービス事業者への訪問等により特に専門的資格を要しない介護補助業務を高齢者の新たな働き口として開拓した。

介護職員を育成し就業に繋げることを目的として、職場実習や職場外実習を企画し実施した。

6. 許可による職業紹介事業を活用した高齢者就労総合相談窓口業務

地域の高齢者等を対象とした「高齢者就労総合相談窓口」を開設し、高齢者のニーズの多様化に対応し、退職後等も、継続的な仕事を含めた就労機会を提供した。

具体的には、地域の高齢者への職業紹介・斡旋、就労相談、キャリアコンサルティング、高齢者等の就労開拓、就労支援セミナーの開催、高齢者等の社会参加の総合コーディネート等を行った。

結果、相談支援者 324 人、求職登録者 142 人、

訪問事業所 163 事業所、求人事業所 36 事業所、求人件数 61 件

求人人数 84 人、就職者 18 人

就労支援セミナー開催 1 回（参加人数：39 人）

であった。

7. 介護保険等事業の拡充

(1) 介護保険事業の充実

「介護保険法」及び「障害者総合支援法」に基づき事業を実施し、会員の就業機会の確保に努めると共に、介護保険事業等の一層の充実を図った。

(2) 離島・山間部での高齢者ケア事業の実施

高齢者の外出の機会を増やし、各地域で寄り合いの場所を広げ、住み慣れた離島・山間部で“元気に楽しくすごそう”を合言葉に『楽島会（たのしまかい）』を実施した。

| 事業名 | 実施回数 | 参加者 | 行事内容 |
|-----|------|-------|--------------------------------|
| 楽島会 | 45 回 | 726 名 | ・レクリエーション・健康体操 ・健康相談・健康チェック |

(3) 介護保険事業の増収への取り組み

利用者拡大に向け、介護関係パンフレットの配布や全会員を対象にチラシを送付するとともに、「シルバーサロン」「ジョイフル（生きがいデイサービス）」「楽島会（ミニデイサービス）」を実施した。また、新たに「北条老人デイサービスセンター（生きがいデイサービス）」を開設した。

事業所加算については、従来の加算体制を保ちつつ、加えて松山福祉事務所の「シルバー指定居宅介護支援事業所」において人員体制を充実させ特定事業所加算を算定した。

| 事業名 | 実施回数 | 参加者 | 行事内容 |
|--------------------|-------|---------|--------------------------------|
| シルバーサロン 清水町 | 245 日 | 3,648 名 | ・趣味活動 14 教室・介護相談 |
| ジョイフル | 244 日 | 1,990 名 | ・健康チェック・室内行事 ・外出行事・講習会 等 |
| 楽島会 | 45 回 | 726 名 | ・レクリエーション・健康体操 ・健康相談・健康チェック |
| 北条老人デイ サービスセンター | 244 日 | 2,579 名 | ・健康チェック・室内行事 ・外出行事・運動会 等 |

(4) 「やさしさと温もりのある、こまやかなケア」

介護保険事業参入時より、「心のぬくもりと経験を介護に!!」をスローガンに、きめ細やかな高品質な介護を実施してきたことにより、職員及び会員ヘルパーにその気持ちが浸透し、利用者はもとより地域からも信頼される事業所となっている。

(5) 職員及び会員ヘルパーの人材の定着及び確保

介護職員処遇改善特別手当を平成 21 年度より引き続き支給した。職員の資質向上を図ることを目的とした研修会への参加や、会員ヘルパーを対象とした研修会を随時開催した。

(6) 松山市母子家庭生活支援事業の実施

松山市より委託を受け次のとおり実施した。

| 事業名 | 実施月数 | 延べ日数 | 延べ時間数 | 収入金額 |
|---------------|------|------|-------|----------|
| 松山市母子家庭生活支援事業 | 3 か月 | 6 日 | 12 時間 | 18,360 円 |

8. 事務局体制の充実

- (1) 公益法人として、会計基準に基づいた適正な執行にあたり、職員の経理的基礎及び技術的能力を向上させた。
- (2) 本部・支部・福祉事務所の連携を図り、事業経費の明確化、事務の効率化等によりコスト削減を実行し公益目的事業の収支相償へ取り組んだ。
- (3) 理事会に連動して、迅速かつ的確に執務ができるよう、事務局組織・事務分掌の見直しを行った。
- (4) 職員の意識改革と人材育成を図るため、研修の機会確保と人事考課制度により職員の資質の向上と適正配置を実施した。
- (5) 公益法人として、必要とされる情報の公開を適切に実施し、透明性の高い事務事業に当たった。